

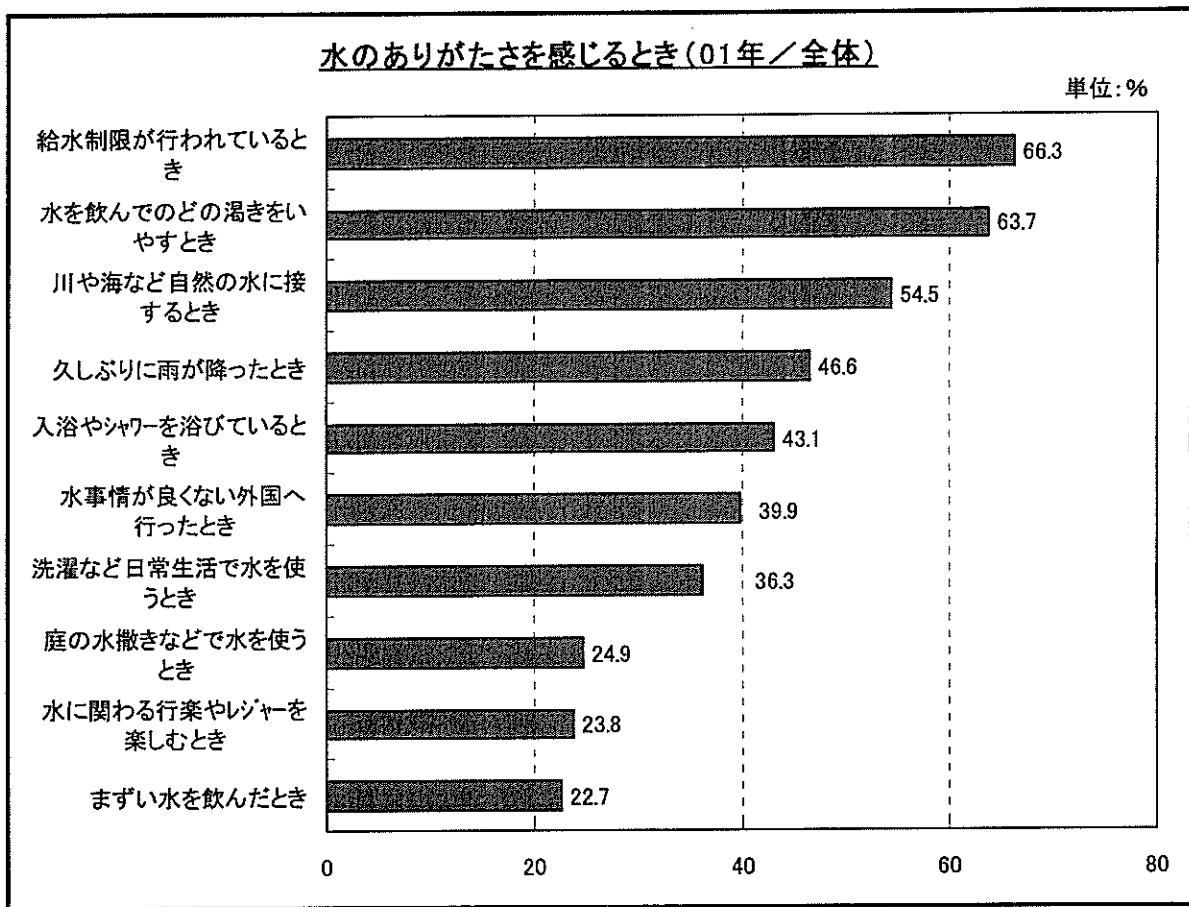
日常生活と水

Q. どんなときに「水のありがたさ」を感じますか？(12択+その他/複数回答)

- ◇ 『給水制限が行われているとき』が66.3%でトップ
- ◇ 『洗濯など日常生活で水を使うとき』などで男女に大きな差

便利な現代生活の中で、ともすれば忘れがちな「水のありがたさ」。大都市の生活者はどのようなときに水をありがたいと感じるのでしょうか。

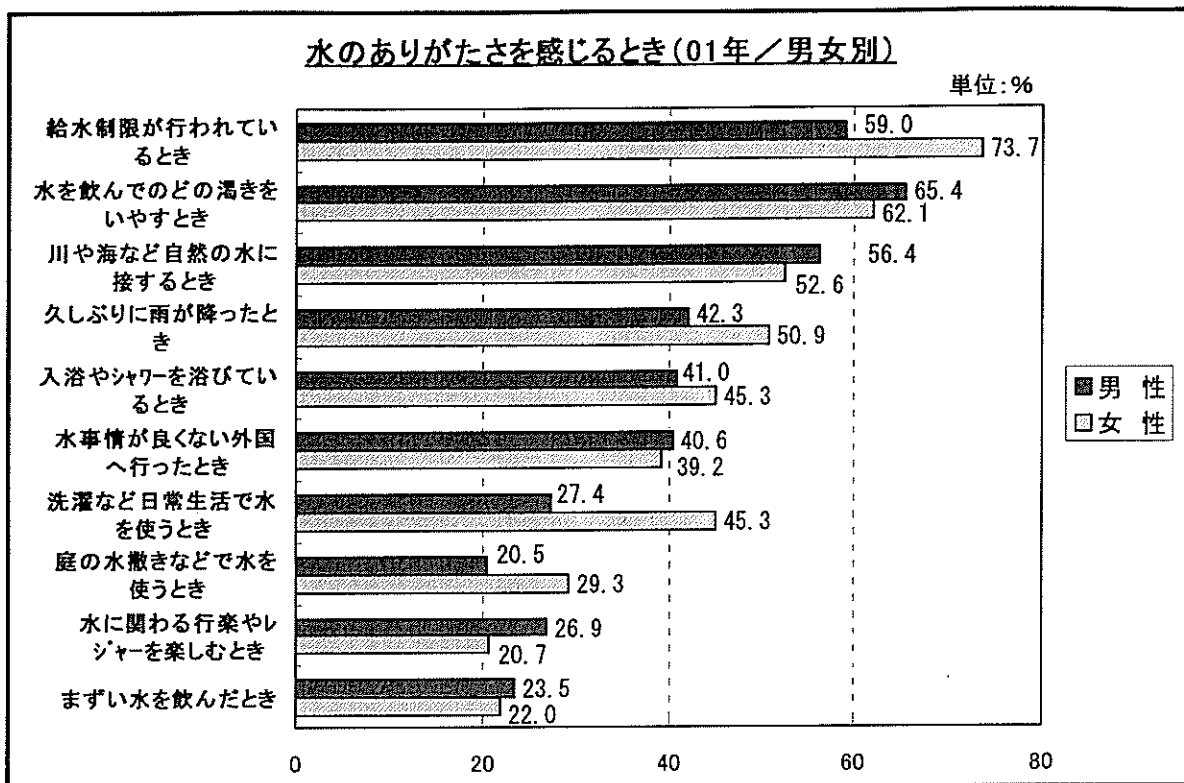
全体のトップは『給水制限が行われているとき』(66.3%)、以下『水を飲んでのどの渴きをやすとき』(63.7%)、『川・海など自然の水に接するとき』(54.5%)、『久しぶりに雨が降ったとき』(46.6%)などと続きました。



次に男女別で見ると、『洗濯など日常生活で水を使うとき』は男性27.4%に対して女性45.3%(17.9ポイント差)、『庭の水撒きなどで水を使うとき』は男性20.5%・女性29.3%(8.8ポイント差)などに大きな違いが出ており、女性は男性に比較してより日常生活に立脚して水のありがたさを感じているといえそうです。

また『給水制限が行われているとき』も男性59.0%、女性73.7%と14.7ポイントもの差が出ていますが、これも“十分な水がないことで日常生活に支障が出てしまう”という女性の意識が働いているものと思われます。

*次ページグラフ参照

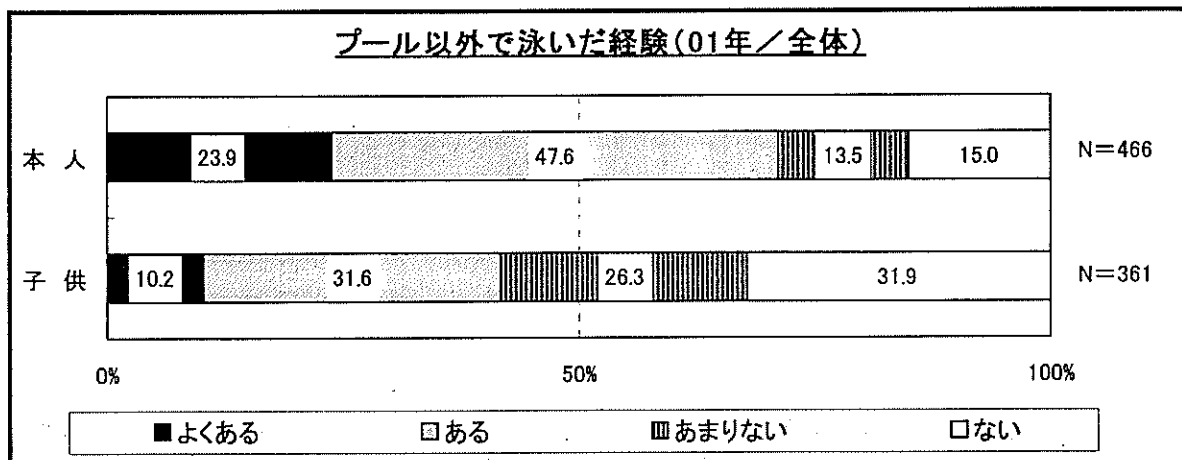


Q. あなたはプール以外(海・川・湖等)で泳いだ経験はありますか？ (4択)

Q. あなたの子供(孫)はどうか？ (4択/子供・孫がいる人だけ回答)

◇子供の場合は6割近くが『プール以外で泳いだ経験はほとんどない』

大都市圏の近くには、気軽に水遊びをしたり、泳いだりすることができる「自然の川や海」は多くはありません。「泳ぐといえばプール」をイメージする人も多いのではないのでしょうか。プール以外の「自然の海・川・湖」で泳いだ経験を聞いたところ、本人(大人)の場合は15.0%、子供の場合は31.9%が、プール以外では泳いだことがありませんでした。子供の場合は『あまりない』『ない』を合計すると58.2%に達し、6割近くが「自然の海・川・湖」で泳いだ経験はほとんどないこととなります。

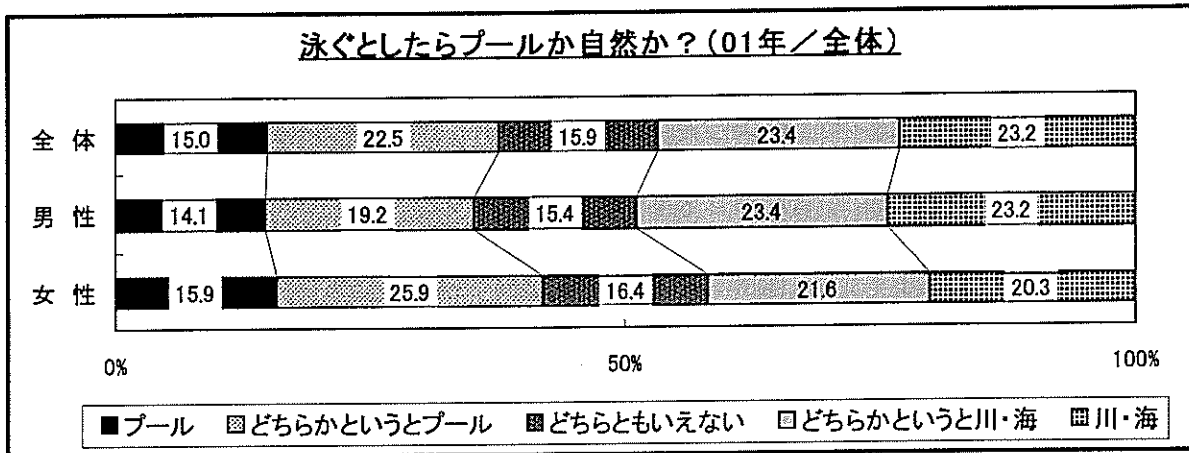


Q. 泳ぐとしたら「清潔な水のプール」と「自然の川・海」のどちらがよい？ (5択)

◇ “自然派” が “プール派” をやや上回る

◇ 男性に比べて女性は『清潔な水のプール』を好む傾向

全体では“自然派”（『自然の川や海がよい』と『どちらかという川や海がよい』の合計）が 46.6%に達し、“プール派”（『清潔な水のプールがよい』と『どちらかというプールがよい』の合計）の 37.5%を上回りました。ただし女性だけに限ると、“自然派”が 41.9%、“プール派”が 41.8%とほぼ同数でした。



Q. 思い出に残る「水遊び」は…何才の頃、どこで、何をしましたことですか？

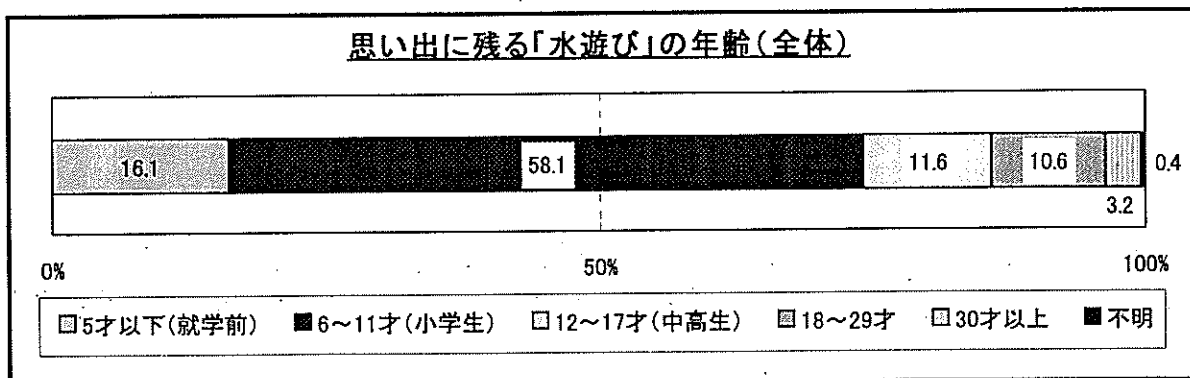
◇ 年齢的には小学生の頃(58.1%)、場所は『海』(41.6%)、遊びの種類は『水泳』(30.7%)

「あなたの思い出に残るもっとも印象深い[水辺での遊び]あるいは[水遊び]とは、何才の頃、どこで、どのような遊びをしたことか」を聞きました。

全体で見ると、「何才の頃」については、過半数の 58.1%が『6～11才（小学生時代）』の思い出を挙げました。「どこで」については、圧倒的に『海』が多く 41.6%、次いで『川』（28.1%）でした。また「何をしましたことか」のトップ3は、『水泳』（30.7%）、『ザリガニ・めだかなどの小魚とり』（15.2%）、『潮干狩り』（11.6%）でした。

■何才の頃の思い出か？（年齢を記入）

58.1%が『6～11才』（小学生）、16.1%が『5才以下』（就学前）をあげました。合計すると 74.2%になり、多くの人にとって小学生の頃までに、おそらく家族や友達と体験した「水遊び」が、もっとも印象深い思い出として残っているといえそうです。

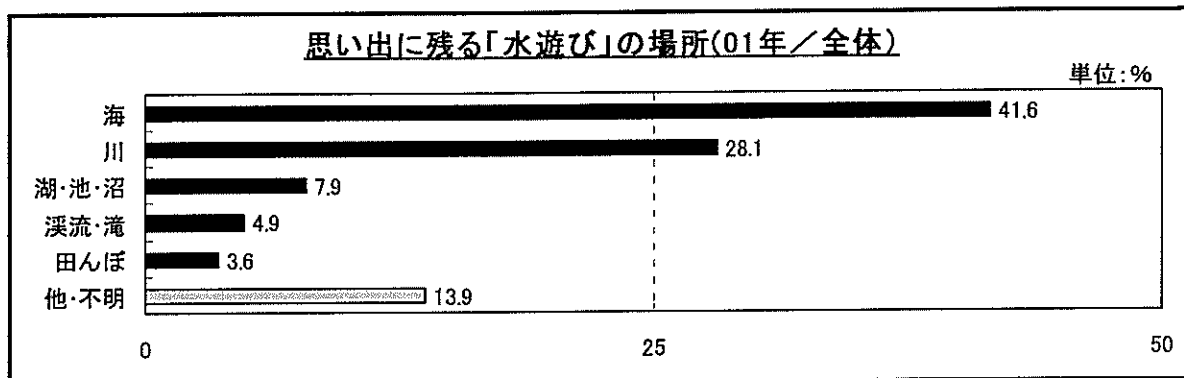


■どこで体験した思い出か？（14 択+その他）

全体のトップは『海』（41.6%）、2位は『川』（28.1%）でした。これ以外に1割に達した項目（場所）はありませんでした。

居住地別に見ても、『海』と『川』が圧倒的多数を占めていることは変わりませんが、東京圏では『海』の比重が高く、中京圏では『川』がトップでした。

また年代別では、年代が低いほど『海』の比重が高く、高いほど『川』を挙げる人が多いという結果になりました。都市部の川が埋められたり、コンクリート護岸で固められたりした結果、日常的に川に接する機会が徐々に失われているという現実を反映しているのかもしれない。



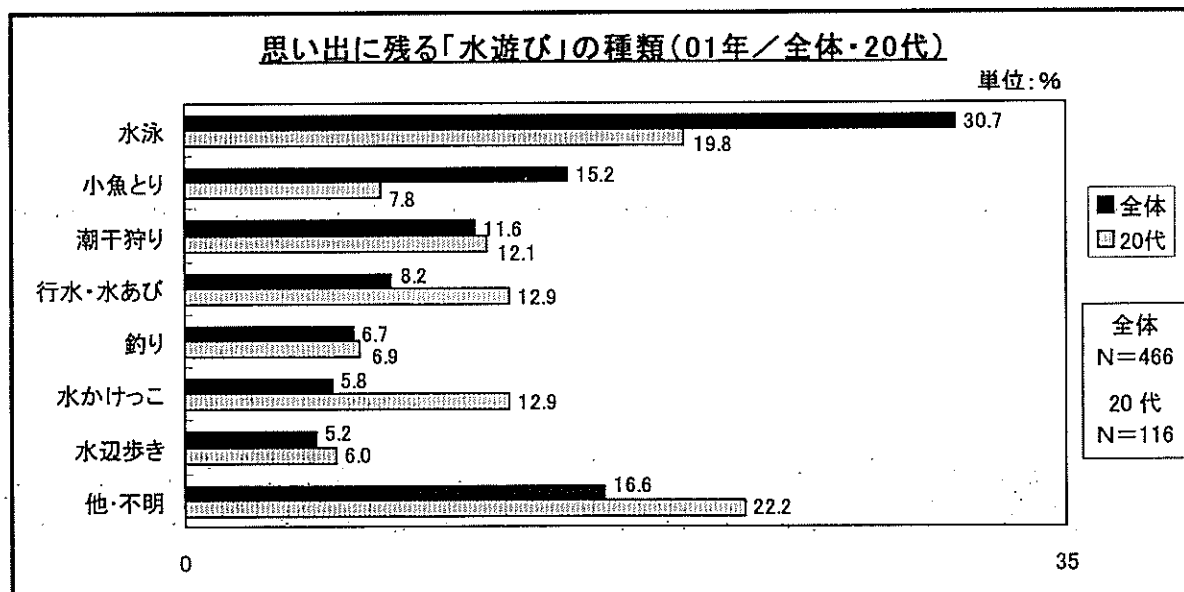
思い出に残る「水遊び」の場所(01年/居住地別・年代別)

	全体	東京圏	大阪圏	名古屋圏	20代	30代	40代	50代~
海	41.6%	45.7%	38.8%	36.3%	48.3%	40.9%	39.5%	38.0%
川	28.1%	23.7%	28.1%	37.2%	19.8%	22.6%	31.6%	38.0%

■どんな「水遊び」をした思い出か？（17 択+その他）

全体では、1位『水泳』（30.7%）、2位『ザリガニ・めだかなどの小魚とり』（15.2%）、3位『潮干狩り』（9.6%）、4位『行水・水あび』（8.2%）などでした。

年代別に見ると、30代・40代・50代以上では大きな違いは見られませんが、20代では『行水・水あび』『水かけっこ』（12.9%・同率2位）が全体平均に比べて高く、逆に『小魚とり』が7.8%（5位）と低いという特徴が見られます。



Q. 思い出の「水遊び」を最近しましたか？ (3択)

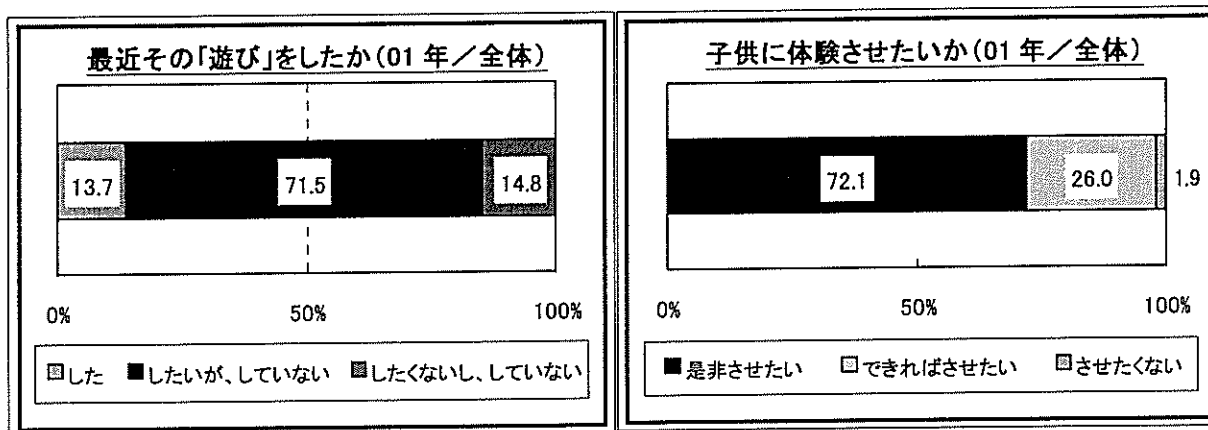
Q. 自分の子供(孫)にその遊びを体験させたいと思いますか？ (3択)

◇思い出の「水遊び」は『したいが、していない』が71.5%

◇自分の子供にも同じ「水遊び」を『是非、体験させたい』が72.1%

前問の「思い出の水遊びの種類」に関連して聞きました。答えてもらった「思い出の水遊び」について、「最近、その遊びをしたか?」、「その遊びを自分の子供や孫(いない方はいと仮定して)に体験させたいと思うか?」を回答してもらいました。

「最近、その遊びをしたか?」については、『したいが、していない(できない)』が71.5%と多数を占め、「その遊びを自分の子供や孫に体験させたいと思うか?」については、『是非、体験させたい』が72.1%、『できれば体験させたい』が26.0%となっており、ほぼ全員が体験させたいと思っています。



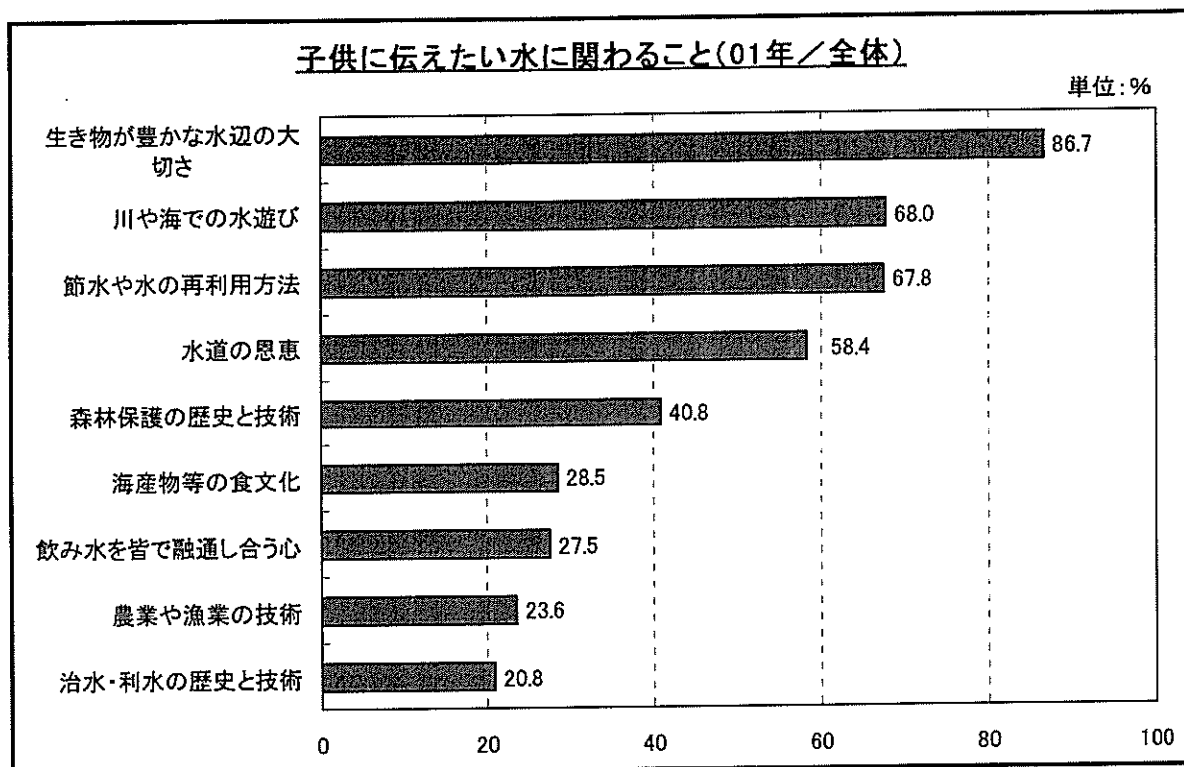
Q. 水に関わることで、子供に伝えたいと思うことは？(10択+その他/複数回答)

◇全体のトップは『生き物が豊かな水辺の大切さ』、次いで『川や海での水遊び』

◇全体平均に比べて20ポイント近く低い20代の『水道の恩恵』

子供たちに伝えたいと思う水に関わる事柄は何かを聞いたところ、トップは『生き物が豊かな水辺の大切さ』で86.7%、以下『川や海での水遊び』(68.0%)、『節水や水の再利用の方法』(67.8%)、『水道の恩恵』(58.4%)などと続きました。

年代別に見ると、20代では『川や海での水遊び』(76.7%)が他の年代に比べて10ポイント前後高く、『水道の恩恵』(39.7%)が全体平均に比べて20ポイント近く低いという特徴があります。また、50代以上の『森林保護の歴史と技術』(62.8%)が全体平均(40.8%)に比べて20ポイント以上の高いことも目につきます。



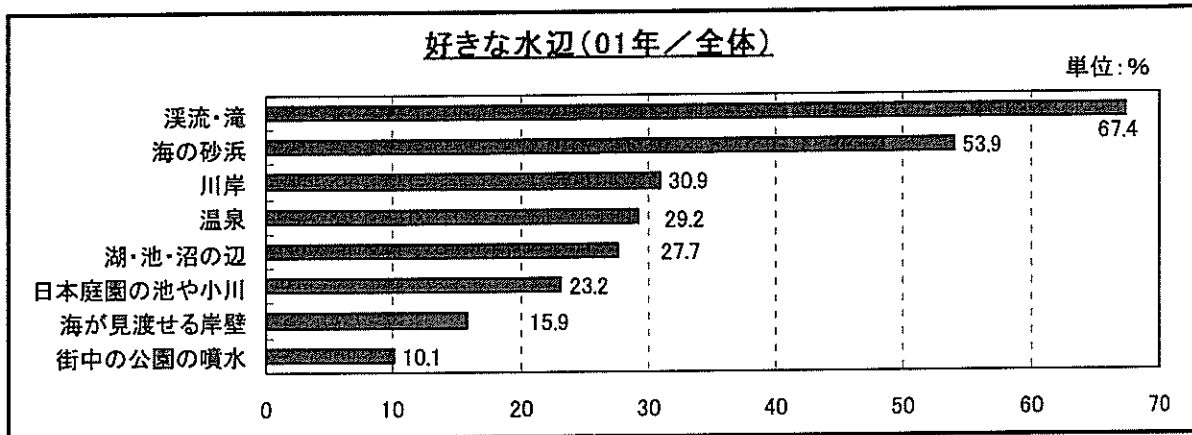
子供に伝えたい水に関わること (01年/年代別)

	全体	20代	30代	40代	50代~
生き物が豊かな水辺の大切さ	①86.1%	①80.2%	①89.6%	①87.7%	①89.3%
川や海での水遊び	②68.0%	②76.7%	③67.0%	④64.0%	④64.5%
節水や水の再利用の方法	③67.8%	③62.1%	②68.7%	②68.4%	②71.9%
水道の恩恵	④58.4%	④39.7%	④57.4%	③67.5%	③68.6%
森林保護の歴史と技術	⑤40.8%	⑤30.2%	⑤27.0%	⑤42.1%	⑤62.8%

Q. あなたが好きな水辺は？ (15択+その他/3つまで選択)

◇1位の『溪流・滝』をはじめ“自然の水辺”が上位に

「好きな水辺」のトップは『溪流・滝』(67.4%)でした。以下、『海の砂浜』(53.9%)、『川岸』(30.9%)、『温泉』(29.2%)と続き、昨年までの調査結果と同様、上位には“自然の水辺”が並びました。



Q. 水辺でやってみたいことは？ (22択+その他/いくつでも選択)

◇水辺は“くつろぎの場所”？ 上位は散歩、景色、のんびり、夕陽、潮の匂い…

昨年までの調査結果と同様、上位には『水辺を散歩する』(60.9%)、『水辺の風景や景観を楽しむ』(58.4%)、『何もしないでのんびりする』(50.9%)、『水辺で夕陽が沈む様子を見る』(48.7%)、『海辺で潮の匂いを楽しむ』(44.0%)など、ヒーリング志向の回答が並びました。

